

## ◆テーマ②:【民間事業者や自治体が共創するうえで意識すること】

01



会社・地域や立場の垣根を超えたコミュニケーション

02



不均衡を避けつつ共感できる核の創出＝想いの共有

03



自分事化は大前提で、真剣に共に考え・汗をかき・それぞれの強みを生かし  
行動を起こす

04



エンゲージメントを高める工夫・仕掛けをする

05



つなぐ

つくる

つなげる

多様な考え・真剣な思い・  
課題・強み

新たな価値・既存の  
価値をさらに

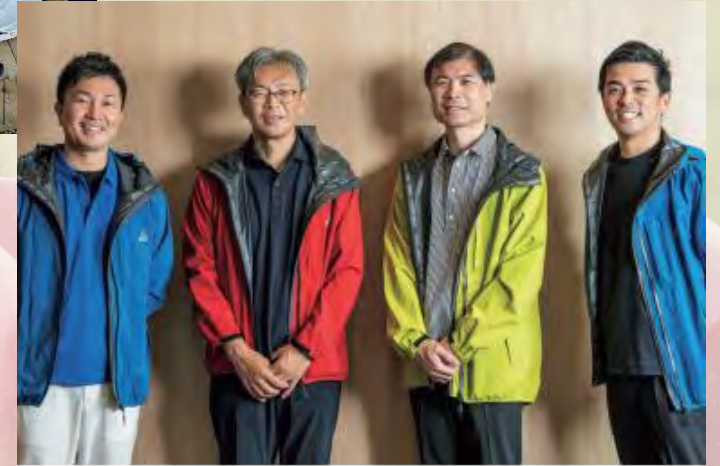
楽しく・未来に

◆テーマ②:【民間事業者や自治体が共創するうえで意識すること】

AGRICULTURE

×

TOURISM



農業観光連携による、交流人口の拡大、関係人口構築の契機

# 議題 2 : 民間事業者や自治体が共創する上で意識すること

## ◆生産者×企業人×自治体の相互理解

生産者：**積極的なコミュニケーション、農作業の工程分離**（素人にでもできる作業の明確化）

企業人：農家さんの生産物（資産）を扱わせてもらうという意識、素人であるという自覚

自治体：**受け入れ体制整備の積極的な支援、言いにくいことも双方に伝える。**

生産者



企業人



自治体



- ・作業手順の動画作成
- ・農作業への理解促進
- 生産者の教え手間の削減



- ・必要な道具整備支援
- 長靴、安全対策具等
- ・地域への情報発信
- ・コミュニケーションの場づくり



## 社員のエンゲージメント向上

### ○農業研修に参加した社員の声

- ・農作業を通じて生産者の方を知ることができ、地域の食といった魅力に気づくことができた。

⇒社員の成長につながっている

- ・自然の中での農作業を通じリラックスできた。
- ・他社の方との交流のほか、所属する支社以外の社員ともつながりができた。
- ・自分の仕事について他企業の方等に説明することで、日頃の業務に関する自信につながった。

⇒社員のウェルビーイング向上にも寄与



## 各支社で農業研修拡大中！

### ○エリア外からの参加者が 自職場でも農業支援策を企画実施



## 議題2 農林水産業での通い農業・副業が広がっていくために、民間事業者や自治体が共創するうえで意識すること

畑を新たなコミュニティの場として、企業や学校など地域の多様な主体が自ら食べるものを育て料理し食すことで、**Well-beingな地域づくり**へ

→畑を「美味しい」、「楽しい」**Well-beingな地域づくりの拠点に**

→**農繁期には、企業や学校が地域の農業の支え手に**



**農業にエンターテインメント性を！**

**農業を「楽しい」、「美味しい」健康サービス産業へ！！**

## 議題2 農林水産業での通い農業・副業が広がっていくために、民間事業者や自治体が共創するうえで意識すること

### ■ 関係者(民間、行政、地域)それぞれのプラスになる仕組みの構築

- ・ 関係者間で生まれる利害不一致の解消
- ・ 各者の強みを生かす役割分担

### ■ 持続可能な仕組みと輪の広がり

- ・ インパクトを重視した立ち回り
- ・ 組織として熱量を持続

### ■ 愛着を持ってもらえる地域側の姿勢

- ・ 立場にとらわれない関係性を築けるコミュニケーション(民間×行政、行政×地域)